

奥千代会議事録

日時 令和2年2月3日（月）19時～

場所 ふれあい歯科ごとう

参加者 五島先生、千代田、奥村、稻山、内山田

①栄養のサブスクリプション

- ・ニュートリションオフィスを管理栄養士派遣会社のようなポジションにする
 - ・すでに各団体や施設に所属している管理栄養士の方々と契約、各地域に派遣する
 - ・責任の所在はニュートリションオフィスとする
 - ・個別に医師と契約をする必要がある
 - ・この方法では恐らく利用者が高齢者に偏ってしまう。結果、施策が一過性のものとなる恐れが高い。それは奥千代会の目的と解離する
- ⇒もっと目的を大枠でとらえる必要がある

②かかりつけの栄養士

- ・一般の人が町の診療所やクリニックに行くように、気軽に栄養の相談をしにいくような場所を創出したい
 - ・栄養ケアステーションは同じような目的で創設されたが、現状意図通りの稼働をしているとは言い難い
- ⇒やはり介護保険ベースで栄養士を稼働させるのは困難である
- ・「栄養院」（この言葉はもう使われている）や「栄養診療所」のようなイメージの町の栄養クリニックをゼロベースで作る必要がある → カカリつけの栄養士がいる場所

③栄養クリニック

- ・自費診療を行うクリニックである
- ・健康な人がより健康になったり、目的を達成するためのクリニックである

目的とは

- i. 仕事のパフォーマンスが上がる栄養
- ii. スポーツのパフォーマンスが上がる栄養
- iii. 勉強のパフォーマンスが上がる栄養
- iv. 痢が治る栄養
- v. 健康な子供が生まれるための栄養

→疾病の進行防止のための食事制限のようなネガティブなイメージではなく、栄養のポジティブな面を強調する

→まずは子育て世代のお母さんたちがターゲットとして適当なのではないか

→塾などで売り込む

→打ち上げ花火ではダメ（無料相談とかはしない）

⇒お金を払って栄養をするという文化を作る

④モデルケース

- ・自費での栄養管理のモデルケースはやはりスポーツ栄養なのではないか
- ・スポーツ栄養のトップの方に話を聞いてみたい
- ・ME I J Iの方に来て頂くことは可能か？

⑤その他

- ・LINEのオフィシャルアカウントを使って栄養相談を行う（報酬を得る方法がある）
→参考：占い師のアカウント（ランキング上位はほとんどが占い師）
- ・Skypeなどで面談を行う

次回：3月11日（月）19時より ふれあい歯科ごとう

以上